



SDGs×保険年金課



すべての国民の健康を支える 国民皆保険制度

日本は、1961年に、すべての国民がいずれかの公的医療保険に加入する国民皆保険制度を実現しました。

これにより、現在では世界最高レベルの平均寿命と保健医療水準が達成されました。

この制度は、『社会保険方式』により、社会全体で助け合うことで成り立っています。

公的医療保険は、「国民健康保険(国保)」・「後期高齢者医療制度」・「被用者保険(「協会けんぽ」・「健保組合」・「共済組合」など)」から構成されます。

保険年金課は、「国民健康保険(国保)」・「後期高齢者医療制度」に関する事務を行っています。

社会保険が健康を支えるってどういうこと？



患者さんが病院の窓口で払うお金は、社会保険のおかげで、じっさいにかかるお金の1～3割分になっているんだよ。
さらに子ども医療など、窓口では無料となる場合があるんだよ。

子どもの医療費が無料になるのはなぜ？



保険診療の自己負担額を福祉医療費助成制度により、市が助成しているからだよ。

医療費が増え続けると、福祉医療費助成制度の維持が難しくなり、現在のように「無料」で診療を受けたり、薬をもらったりできなくなることが考えられます。また、健康保険制度の保険料が引き上げられ、今より多くの保険料を負担いただくことも考えられます。

医療費は年々増加しております。限られた財源を有効に活用できるように、病気の予防や適正な受診を心がけるなど、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

